

第 28 号
平成24年 9月14日
発行 宮城県多賀城
高等学校同窓会
翔 朋 会

自燈明法燈明

翔朋会会長 及川佳洋



「自らを燈明とし、自らをよりどころとし他人を頼らず、法を燈明とし、法をよりどころとし、他のものを頼らず生きなさい。」

これは、釈迦入滅の間際、弟子たちが、「これから先わたくしたちは何を頼りに生きてゆけばよいのですか」という問いに答えた言葉だそうです。自燈明の自は「自分」、法燈明の法は「常に変化している万物の法則」のことを言うのだそうです。仏教の教えで

はこの日々変化してゆく法則を「諸行無常」という言葉で表現します。

私たちは、とかく他人の言葉や世間の風評に流されがちです。また、利益を得るために権力に寄り付いたり、おいしい話に簡単に乗るなどということが往々にしてあります。それは「時の権力に従ったほうが有利だ。」とか、「楽しんで得するほうがよい。」と誰もが思いたくなるものです。しかしながらこれらの考えは、他人頼りで、いつまで続くかわからない、実に不確実で、虚構に満ちたものです。そこで重要になるのは、物事の本質「真理」を正しく判

題字紹介
「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

断でできる確立された自分自身です。

「正しいことは何か、次に何をすべきか」「状況に応じて自らを律し進むべき道を確固たる信念に基づいて行動する力」を持ちなさい。これが「自燈明」で、

そんな自分を確立するため、「無常」という理を知り、こだわりから開放された心を持ちなさい」という教えが、「法燈明」です。

私は決して敬虔な仏教徒ではありませんが、この教えには非常に感銘を受け、私の座右の銘としています。



第33回 翔朋会総会

第34回 翔朋会総会のご案内

日 時 平成24年10月13日 (土)
総 会 18:30~19:00
懇親会 19:00~21:00
会 場 ホテル・キャッスルプラザ多賀城
会 費 3,000円 (当日会場で頂きます。)ただし34回生は1,000円。

○今回の幹事学年は、以下の4つの回生の方々です。

- 4 回 生 (昭57年 3月卒業)
- 14 回 生 (平 3年 3月卒業)
- 24 回 生 (平14年 3月卒業)
- 34 回 生 (平24年 3月卒業)

それぞれの同期の方をお誘いください。

○同封のFax用紙でお申込みください。

旧職員の先生方が参加します

今年の総会の幹事学年が4回生、14回生、24回生、34回生となることを記念いたしまして、該当の卒業生を担当されました当時の3年生の先生方に第34回総会(懇親会)のご案内をいたしましたところ下記の先生方が出席いたします。

- 4回生 3組担任 武田 和夫 先生
- 7組担任 神田 卓郎 先生
- 24回生 2組担任 布田 真一 先生
- 34回生 7組担任 菅原 健久 先生

翔朋会の充実した運営と発展のため、年会費二千円を納入くださるようお願いいたします。

確かな手応え

校長 中村 勝彦



本校に赴任して二年目を迎えますが、同窓会の皆さまには本校の教育活動に対しまして日頃より温かなご協力とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

本校生の良さは、素直な性格で頑張り屋が多く、何事にも一生懸命取り組むことにあります。高校生らしいしっかりとした挨拶や身嗜み、そして落ち着いた立ち居振る舞いが校内に落ち着いた雰囲気醸し出しています。本校は、創立当初より文武両立を掲げていますが、今年度は運動部、文化部を問わず「武」の健闘が目立ち、例年を上回る垂れ幕の多さにつながっています。運動部については、高校総体では柔道部が部員六名のう

ち三名が東北大会出場と大活躍を見せ、水泳競技では三年の加藤未来さんが昨年に続き東北大会に出場しました。ラグビー部は昨秋から組んでいる仙台二高との合同チームで、見事東北大会出場を果たしました。六月四日の仙台高校との代表決定戦は全校応援を行いました、熱い応援に後押しされた選手諸君が気迫溢れる素晴らしいプレーを見せ多賀城高校としての一体感を感じる貴重な機会となりました。試合終了後の校歌斉唱は多くの人々の心に響く素晴らしいものでした。さらに、馬術競技では三年の鈴木貴子さんが東北大会で個人三位となり、三年越しの努力が実り見事インターハイ出場を獲得しました。他の部活動においても顧問・コーチ・選手が一体となって一生懸命練習に取り組んでおり、サッカー部が久しぶりに全国高校サッカー選手権の一次予選を通過するなど確かな手応えを感じています。

に出場し、しっかりとした内容の発表を行ってきました。また、吹奏楽部は全国吹奏楽コンクール、合唱部はNHK合唱コンクールにおいていずれも東北大会出場を決めました。両部の東北大会同時出場は共学の公立高校としては快挙であり誇りに思っています。八月二十四日に秋田市で行われた吹奏楽の東北大会では、三年連続金賞受賞という荣誉に輝き、採点の妙で惜しくも全国大会出場は逃しましたものの、その気迫溢れるダイナミックな演奏は多くの観客の心に感動を与え、いただいた拍手も出場校中一番と言っても過言ではありません。このような生徒達の活躍は逐次ホームページに掲載していきます。「多高通信」の内容もリニューアルしてまいりますので、是非ご覧下さい。

「文」の面では、厳しい社会を生き抜くための基本となる「自分で考えて行動する」力を身に付けさせることを目標に、今年度「授業の準備をするためのベル着」に生徒・教職員全体で取り組んでいます。決して派手ではありませんが、地道な努力を継続し一歩ずつ前へ進んでいきますので、今後とも「多賀城高校」へのこれまで以上のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。併せて総会への出席を含め同窓会運営へのご協力を心よりお願い申し上げます。

翔朋会役員(案)

- 会長 及川 佳洋 一回生
- 副会長 石橋 和雄 二回生
- 副会長 渡辺 文昭 三回生
- 副会長 瀬戸口真弓 四回生
- 監事 高橋 和人 五回生
- 監事 武田 三弘 八回生
- 会計 梅津 英久 二回生
- 会計 鈴木 芳則 事務室長
- 書記 針生美由紀 四回生
- 書記 横山 卓哉 八回生
- 幹事 大内 昭浩 四回生
- 幹事 千坂 誠也 七回生
- 幹事 磯 比呂志 八回生
- 幹事 植杉 淳一 一五回生
- 幹事 見立屋雅子 二六回生
- 参与 中村 勝彦 校長
- 参与 栗野 琴絵 教頭
- 事務局長 小野 敬弘 事務部長
- 事務局長 本郷 和重 事務局長
- 事務局長 菅原 未来 総務部



震災のため1年遅れて昨年実施しました。



8回生同級会 26年振りに初めて開催しました。

馬術競技

インターハイ出場

三年五組 鈴木 貴子



全国大会は、一回戦敗退という結果で終わってしまいました。進学後、選手に戻るかは決めていませんが、この経験は必ずどこかにいかしたいと思います。

吹奏楽部

二度目の海鋒義美賞、三年連続東北大会金賞

吹奏楽部部长 坂本 諭加

私たち吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクール宮城県大会で、一昨年初めて県一位となり、県一位に贈られる海鋒義美賞

を受賞しました。昨

年は、県代表にはなりましたが惜しくも県一位を逃してしまいました。しかし今年再び海鋒義美賞を受賞することができました。

今年、私たちが

演奏した課題曲V「香り立つ刹那」自由曲「宇宙の音楽」は今までになく、どちらも難易度の高い曲でした。特に「宇宙の音楽」では最後にハルモニアという部分があり、そこに一番思い入れがあります。きいていただいている方々に自分達の想いを伝えるため、一音一音丁寧にあわせて地道な練習を積み重ねてきました。

本番のステージでは楽しく演奏することができ、たくさんの方々に感動していただけた。演奏をすることができました。全国大会への切符を手に入れることはできませんでしたが、仲間達とあのステージで演奏できたことを本当に幸せ



に思います。

最後になりましたが、保護者の方々、地域の方々、多賀城高校OB、OGの先輩方、先生方のご支援ご声援のおかげで東北大会で金賞を頂くことができました。心

より感謝申し上げます。今後とも多賀城高校吹奏楽部はより良い演奏を目指して頑張っておりますのでご支援よろしくお願ひ致します。

合唱部

四年ぶりの恩返し

合唱部部长 遠藤 美和

私たち合唱部は先日行われたNHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクールで金賞を頂き、県代表として東北大会に出場することになりました。今年演奏した曲は課題曲B「もう一度」、自由曲「クリスマスのための4つのモテット」からI、IVです。課題曲Bは無伴奏のためすべてを自分たちの声で表さなければならず、微妙な表現や音のズレに苦労

しました。また始めは静かに始まり、後半では気持ち爆発させて伸びやかに歌い上げる曲なのですがそのメリハリがなかなかつかず、皆で作詞者・作曲者の思いにふれ曲の理解を



深めていくことで克服していくことができました。自由曲はキリストの誕生を喜ぶ歌です。しかしラテン語の曲ということもあり、キリスト教徒でない私たちにとって気持ちこめて歌うことが大変難しく、うまくいかないことも多々ありました。そんなときに出席先生が「自分が生まれた奇跡を喜び、そして周りの仲間が生まれたことを喜んでみよう。」と言ってくれたお陰で曲を自分たちのものにし、歌いきることができました。練習中は辛い思いも沢山しましたが、本番で部員心一つに演奏をし、歌い上げられたときの感動はなにもにも代えがたいものです。賞というのは結果としてついてくるもので

ですが、定期演奏会等でお世話になった合唱部OB・OGの先輩方に金賞の報告ができてなにより嬉しかったですし、支え応援して頂いた皆様のお陰でこの結果に結びつくことができました。本当にありがとうございます。

今回、発表に向けて取り組

科学部

全国高総文祭に出場して

科学部部长 細井 祥汰

私達科学部は二〇一二年八月に富山で開催された全国高等学校総合文化祭に出場し、化学部門で研究の成果を発表してきました。全国大会というだけあって、各出場校の発表はレベルが高く、これまでの研究の苦労を感じさせるものばかりでした。

んできたテーマは『電磁場中のイオンの運動について』です。実験の内容は、

①シャーレの底の中央にネオジム磁石を取り付ける

②電解質水溶液を入れ、水溶液の運動を観察するために活性炭粒を浮かべる

③炭素電極を固定し、ネオジム磁石が炭素電極の中央付近になるように取り付ける④電圧をかけると水溶液が運動を始める、というものです。簡潔に言うと、「電場と磁場がイオンに働きかけ、水溶液に流れを生み出す」実験です。

実験そのものは単純ですが、運動の解析・分析や仮説の立案・検証、公式への定数の追加など、多岐に及ぶ作業は発表ぎりぎりまで続けられました。

元々この研究は、発表者である桐生和磨君が、昨年、十一月の宮城県生徒理科研究発表会のために取り組んだテーマで、科学部としては各部員の発表の一つに過ぎませんでした。しかし化学部門の県代表に選ばれた事で、発表者を中心として部全体で取り組む

テーマとなり、その中で顧問の永沼先生・佐藤先生、前年度顧問の増子先生や宮城教育大学の玉木教授、馬目先生など多くの方々の支えを受けて、大きく内容を発展させることができました。全国大会での発表は、この支えが無ければ決して成し得なかったことだと思います。科学部を代表して心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

水泳部

東北大会に出場して

三年三組 加藤 未来

昨年同様震災の影響により、例年大会が行われているグラウンドイが使用できなかったため、今年はスッパッシュランド白石のプールを使用しての大会となりました。大雨の中仙台二高の野外プールで行われた昨年の県大会と比べ、とてもいい環境で大会が行われ、無事に東北大会出場を決めることが出来ました。昨年の新人戦が終わったころから肩を故障し、練習がままならない期間もありましたが、怪我か

ら逃げずに、諦めずに自分を信じて泳ぎ続けてきて本当に良かったと思います。そして、こうして東北大会出場を決められたのも家族や友人、チームメイトをはじめ、多くのみなさんの支えやあたたかい励ましがあったからこそ。ありがとうございました。いっばい感謝の気持ちでいっばいです。東北大会ではベストタイムを出すことは出来ませんでした。自分の持ちうる力は存分に発揮しましたし、最後の大会をおもいっきり楽しむことが出来たので悔いはありません。インターハイ出場の夢も果たせませんでした。三年間東北大会に出場できたことは自分にとっていい経験となったとともに大きな自信にもなりました。これからは長い間辛い練習を逃がずに諦めないで乗り越えてきた根性と、数多くの経験を生かして今後の人生に生かしていきたいと思えます。

柔道部

東北大会について

柔道部部长 遠藤 燦

我々柔道部は、男子五名、女子一名という少ない人数の中、高橋和照先生のご指導のもと、四名が県大会で入賞し、そのうち三名が東北大会に出場することが出来ました。

先輩方が引退し、私が部長となつてからは、本当に自分が部員をまとめられるの不安なところもありました。また、冬に体調を崩した部員も多く、まともな練習が出来ない日などもありましたが、各々が自分の課題を考え、工夫した練習を心がけることで弱点を克服し、自信をつけることが出来ました。さらには、合同練習等にも積極的に参加し、三年生にとって最後の大会へとモチベーションをあげていくことが出来ました。

そして迎えた県大会では予選を勝ち抜き、準々決勝まで進むことが出来ました。そこで仙台育英に敗れ、団体での東北大会出場は果たすことが出来ませんでした。しかし、気持ちを切り換え臨んだ個人

戦では三年生全員と二年生一名が入賞し、東北大会への切符を手に入れることが出来ました。

岩手県一ノ関で行われた東北大会では結果を残すことは出来ませんでした。三年間の最後の試合に宮城県を代表して東北大会に出場できたことは私にとって大きな経験となりました。

これで部活は引退となりました。ありがとうございました。三年間の部活で培った体力と精神力を受験勉強やこれからの生活に活かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、応援して頂いた皆様、まことに有難う御座いました。

◎ 今年の進路状況

(過卒者判明分も含む)

国公立大学	36
私立大学	383
国公立短大	5
私立短大	5
専修(各種)学校・その他	76
就職	7
合計	512

2012 県高校総体結果

☆ソフトボール部

一回戦 多賀城 2-4 石巻商業

☆男子ソフトテニス部

団体戦 2ペア 初戦敗退
個人戦 3ペア 一回戦敗退
※個人戦は5ペア出場です。

☆女子ソフトテニス部

団体戦 二回戦敗退
個人戦 佐藤・藤原 二回戦敗退
芳賀・西 三回戦敗退

☆ラグビー部

県総体 第3位

☆水泳部

東北大会出場
加藤 未来 400m自由形 第6位
800m自由形 第6位

☆男子硬式テニス部

県総体 団体ベスト8

☆女子硬式テニス部

団体戦 初戦敗退でしたが、OBの方々の応援もいただき、チーム一団となって試合をすることができました。

☆男子バレーボール部

多賀城 0-2 仙台育英 一回戦敗退

☆女子バレーボール部

多賀城 2-1 蔵王
多賀城 0-2 仙台商業

☆男子弓道部

団体戦 二次予選敗退
個人戦 渡辺 翼 2年 二次予選敗退
渡辺 翔 3年 二次予選敗退
丹野 雅紀 3年 準々決勝進出

☆女子弓道部

高総体 宮城県ベスト8

菊田 沙樹 3年

佐藤 愛優 2年

赤田 愛里 2年

古閑 あゆめ 3年

寺嶋 美花 3年

齋藤 舞菜 2年

☆男子バスケットボール部

仙塩地区総体
多賀城 43-64 学院榴ヶ岡
多賀城 39-76 仙台工業

☆女子バスケットボール部

一回戦 多賀城 78-26 古川工業
二回戦 多賀城 44-88 宮城一

☆山岳部

H24年度県総体 第9位

☆男子卓球部

団体 一回戦 多賀城 3-2 白石
二回戦 多賀城 2-3 仙台二

☆女子卓球部

個人 藤島 和貴 二回戦敗退
三浦 英之 二回戦敗退

☆女子卓球部

私達女子卓球部は、五月に一年生六人で初めて高総体の地区予選に出場しました。残念ながら県大会へ出場することはできませんでした。

☆女子卓球部

私達は男子の先輩を応援するために県大会を見に行きました。そこで私達は強い選手のプレーを見て多くのことを学び、帰ってきました。県大会で得たものを自分のプレーに取り入れ、もっと強くなって、新人戦では県大会に出場できるように、がんばっていききたいと思っています。

☆男子剣道部

個人戦 三年 秋葉 佑汰 三回戦敗退
三年 渡邊 悠斗 三回戦敗退
団体戦 4校リーグ

☆女子剣道部

多賀城 3-2 東北
多賀城 5-0 大崎中央

☆柔道部

県総体
男子団体 ベスト8
男子個人 60kg級 第3位 佐藤 徳朗
73kg級 第3位 蟻浪 卓
女子個人 73kg級 第3位 遠藤 燦
48kg級 第3位 安達 菜摘

☆陸上競技部

多賀城 1-3 仙台二 予選リーグ敗退
準決勝進出者
100mハードル 鈴木 陽子 17秒37
走り高跳び 足立麻菜美 145cm
やり投げ 後藤 峻 47m28

☆柔道部

個人戦 小山 一回戦敗退
松尾 二回戦敗退
齋藤 三回戦敗退
星 二回戦敗退

☆サッカー部

多賀城 3-2 泉松陵
多賀城 1-3 塩釜
多賀城 0-4 東北学院

文化部

☆吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール予選
第55回宮城県大会高等学校の部
海鋒義美賞・金賞

☆合唱部

宮城県合唱アンサンブルコンテスト
マリア☆ナイン 銅賞
ジュゴン 銀賞
NHK全国学校音楽コンクール
宮城県コンクール 金賞
東北ブロックコンクール出場

☆吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール予選
第55回宮城県大会高等学校の部
海鋒義美賞・金賞

東北大会結果

☆柔道部

男子個人 60kg級 徳朗 優勝負け
一回戦 佐野 徳朗 優勝負け
(東日大昌平) 會川 隼

☆水泳部

加藤 未来 400m自由形 47.44位
800m自由形 9:51.47位

☆ラグビー部

東北高等学校ラグビーフットボール大会出場(II部) 第5位

☆吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール
第55回東北大会 三年連続 金賞

今年度の異動

★退職者

増子 昭彦 教諭(松島高へ再任用)

★転出者

千葉 茂 教頭 中新田高へ
種崎 直宏 教諭 大志高へ
川瀬 剛 教諭 名取北高へ
菅山あつみ 教諭 三枝高へ
磯 比呂志 教諭 仙台西高へ
菊田 英孝 教諭 教育庁高校教育課へ
熊谷圭二郎 教諭 東京都立新宿高へ
小山 美恵 教諭 仙台一高へ
一條 忠美 教諭 黒川高へ
百々智恵美 代養護教諭 二枝高へ
三浦 邦彦 事務 光明支援学校へ
村上 尚子 主任主査 利府高へ

★転入者

栗野 琴絵 教頭 教育庁高校教育課から
小川 進 教諭 塩釜高から
菅原 未来 教諭 白石工業高から
永沼 幹子 教諭 貞山高から
蜂谷加代子 教諭 角田高から
穴戸 篤史 教諭 図南秋陵高から
安倍 稔 教諭 白石高から
木村 敬二 教諭 泉館山高から
矢部 鋼治 教諭 警庁系健康課へ
近野 弘好 教諭 気仙沼高から
酒見 澄恵 養護教諭 新採用
三浦 龍一 事務 県工業高から
三浦裕美子 事務 古川高から

平成23年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成23年 4月1日～平成24年 3月31日

1. 収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	差引残高	備考
会費	1,528,800	1,523,200	▲ 5,600	卒業時入会金 3,600円×272人 卒業時会費 2,000円×272人
年度会費	2,000	163,400	161,400	同窓生より振込
繰越金	611,227	611,227	0	前年度より繰入
DVD売上費	2,000	0	▲ 2,000	
雑収入	69	84	15	預金利息
合計	2,144,096	2,297,911	153,815	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	差引残高	備考
1. 運営費	36,000	40,233	▲ 4,233	
会議費	20,000	15,218	4,782	役員会会議費
通信費	13,000	20,920	▲ 7,920	切手代など
需用費	3,000	4,095	▲ 1,095	紙、ファイルなど
2. 事業費	1,900,000	1,535,588	364,412	
総会費	100,000	57,573	42,427	総会補助
会報費	1,300,000	1,204,590	95,410	会報発行・会員宛会報発送
補助費	300,000	128,000	172,000	遠征費補助
記念品費	170,000	145,425	24,575	卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	0	30,000	
3. 予備費	108,096	0	108,096	
4. 繰り出し金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立金として
合計	2,144,096	1,675,821	468,275	

3. (収入総額) (支出総額) (差引残額)
 2,297,911 - 1,675,821 = 622,090
 次年度へ繰り越し

平成24年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

1. 収入の部 2,142,096円
 2. 支出の部 2,142,096円

1. 収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	1,540,000	1,528,800	11,200	3,600円×275人 卒業時入会金 2,000円×275人 卒業時会費
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込
繰越金	622,090	611,227	10,863	前年度より
DVD売上費	0	2,000	0	
雑収入	0	69	▲ 69	預金利息
合計	2,164,090	2,144,096	21,994	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 運営費	45,000	36,000	9,000	
会議費	20,000	20,000	0	役員会会議費
通信費	20,000	13,000	7,000	切手代など
需用費	5,000	3,000	2,000	紙、ファイルなど
2. 事業費	1,900,000	1,900,000	0	
総会費	100,000	100,000	0	総会補助
会報費	1,300,000	1,300,000	0	会報発行・会員宛会報発送
補助費	300,000	300,000	0	遠征費補助
記念品費	170,000	170,000	0	卒業証書ホルダー 530円×275名+振込手数料735円
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	119,090	108,096	10,994	
4. 繰り出し金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立金として
合計	2,164,090	2,144,096	19,994	

平成23年度 翔朋会 事業報告

平成23年 6月15日(水) 第1回役員会
 9月16日(金) 会報発行
 10月6日(木) 第2回役員会
 10月15日(土) 第33回翔朋会総会
 *日時 総会18時～ 懇親会19時～
 *場所 ホテルキャッスルプラザ多賀城
 *会費 3,000円 (33回生1,000円)
 *幹事 3・13・23・33回
 平成24年 2月23日(木) 第3回役員会
 2月29日(水) 翔朋会入会式 (第34回生)
 6月1日(金) 会計監査

平成24年度 翔朋会 事業計画 (案)

平成24年 6月14日(木) 第1回役員会
 9月14日(金) 会報発行
 10月4日(木) 第2回役員会
 10月13日(土) 第34回翔朋会総会
 *日時 総会18時～ 懇親会19時～
 *場所 ホテルキャッスルプラザ多賀城
 *会費 3,000円 (34回生1,000円)
 *幹事 4・14・24・34回
 平成25年 2月21日(木) 第3回役員会
 2月28日(木) 翔朋会入会式 (第35回生)
 5月15日(水) 会計監査

平成23年度 翔朋会特別会計 決算報告

1. 収入の部 (単位 円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	差引残高	備考
繰入金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,602,057	2,602,057	0	前年度繰越金
雑収入	0	417	417	通帳利息
合計	2,702,057	2,702,474	417	

2. 支出の部


特別会計については、周年行事に対応するため、本年度の支出予定はありませんでした。

3. (収入総額) (支出総額) (差引残額)
 2,702,474 - 0 = 2,702,474
 次年度へ繰り越し

監査報告

平成23年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成24年 6月1日

監事 梅津英久 

平成24年度 翔朋会特別会計 予算書(案)

1. 収入の部 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
繰入金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,702,474	2,602,057	100,417	前年度繰越金
雑収入	0	0	0	
合計	2,802,474	2,702,057	100,417	

2. 支出の部

特別会計については、周年行事に対応するため、本年度の支出予定はありません。